

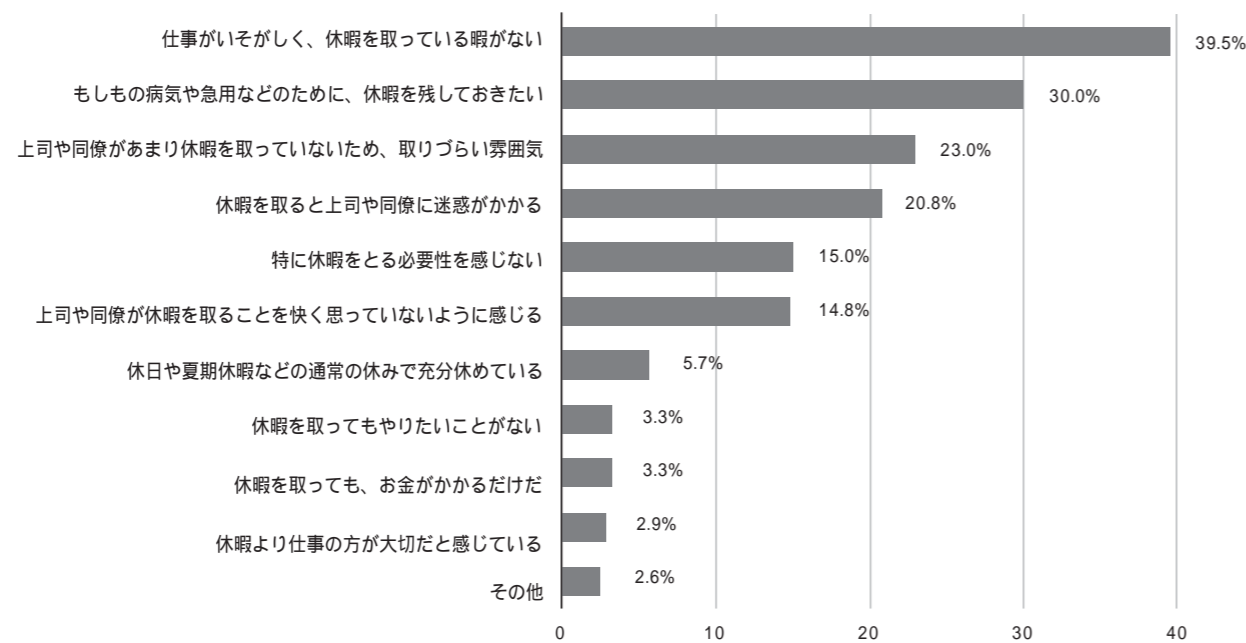
有給休暇消化率の国際比較2009

日本が2年連続最下位に

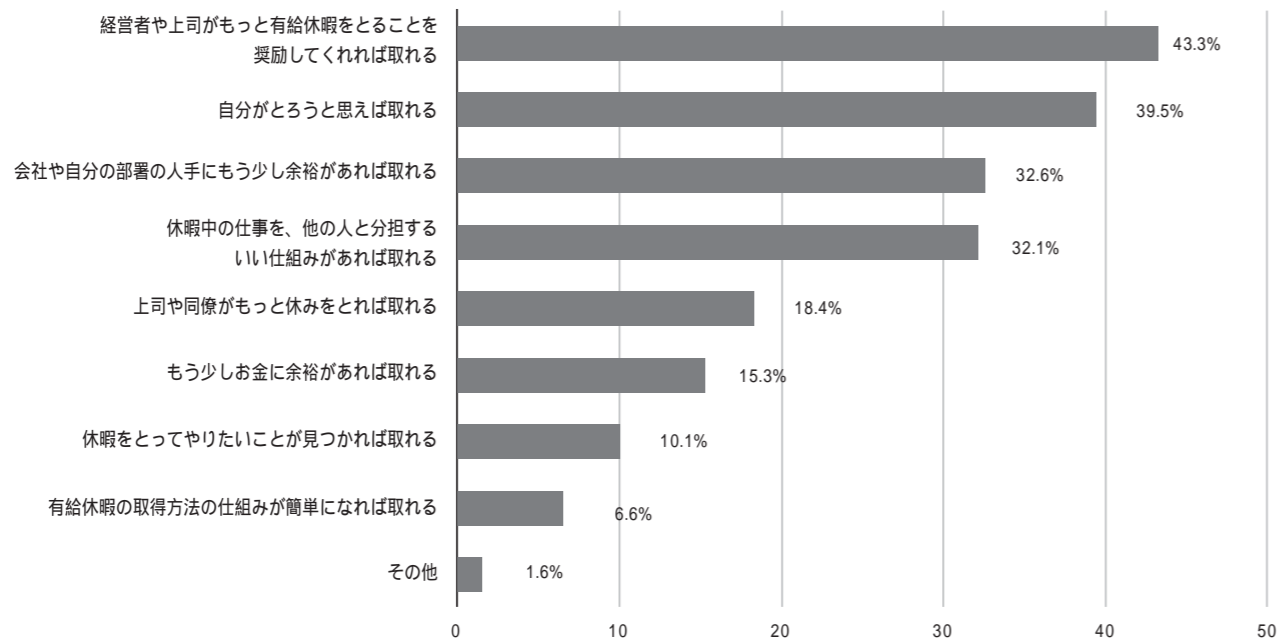
エクスペディア調べ

調査データ

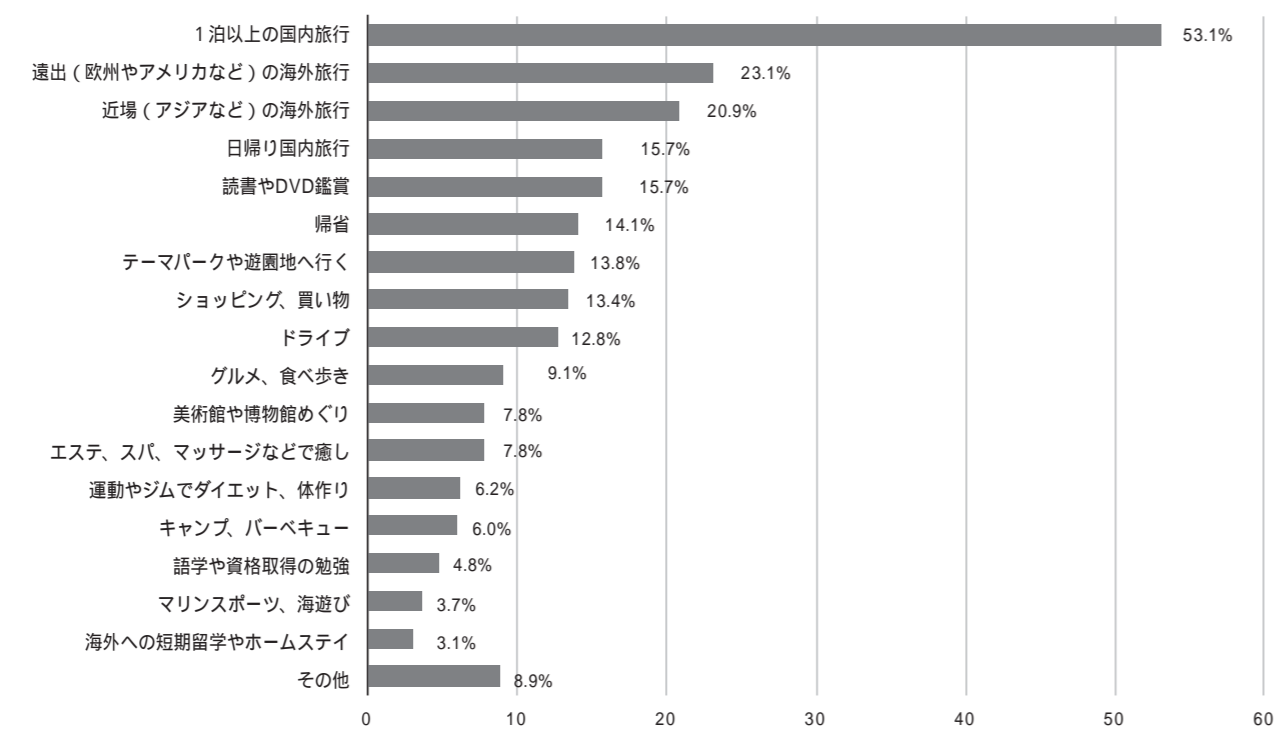
有給休暇をすべて取得できない理由(複数回答)



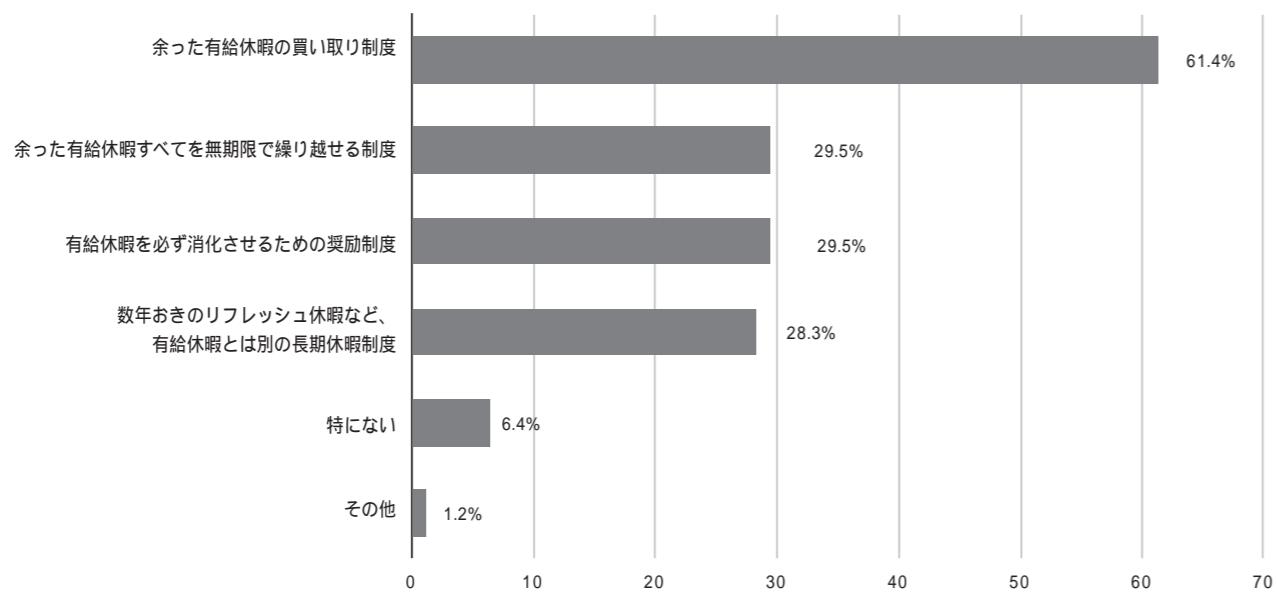
どうすればもっと有給休暇をとれるか(複数回答)



有給休暇をとって実行したいこと(複数回答)



有給休暇に関して、あればいいと思う制度(複数回答)



その他の調査結果

・有給の支給日数には満足しているが、十分に取得できていない人が39%。
支給日数も足りないという人と合わせると、65%が現状に不満。

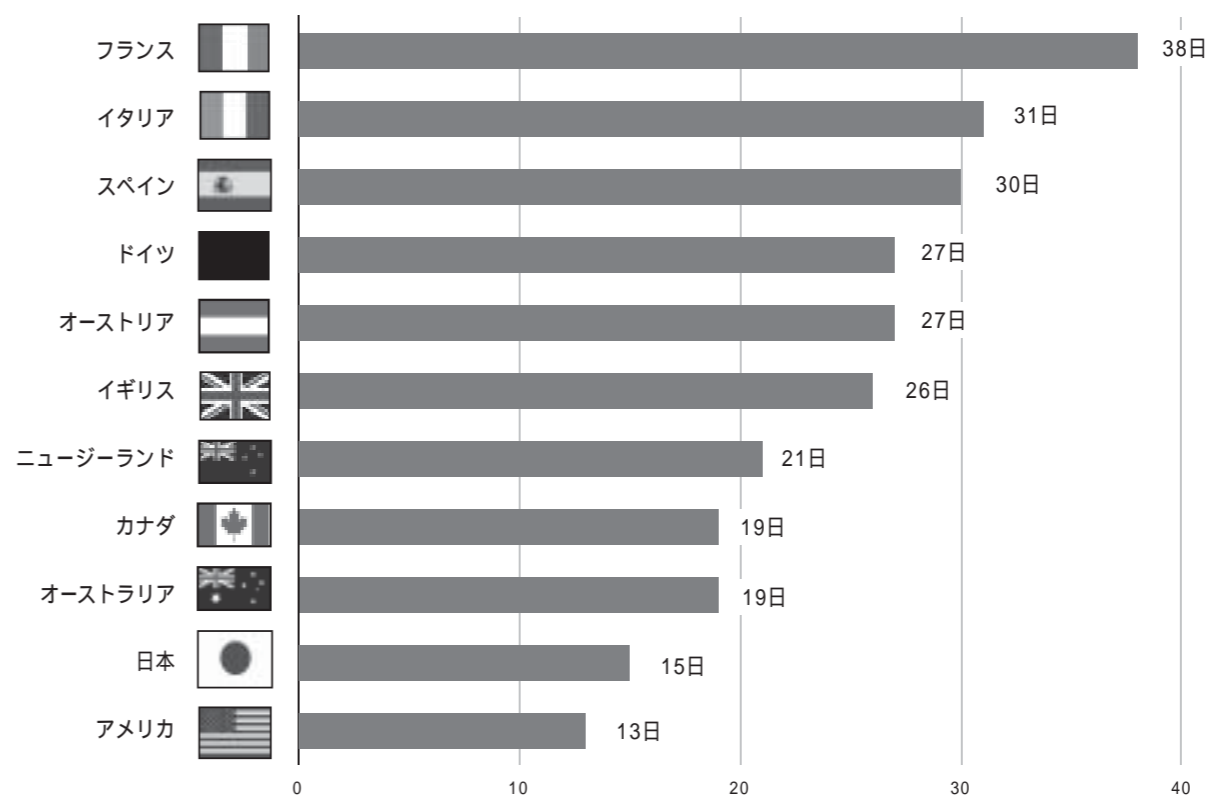
このほど日本と欧米主要10カ国で行った調査で、日本人有職者の有給休暇取得日数が11カ国中最低であることが分かった。日本人の有給取得率が最下位となったのは、2年連続。

世界最大のオンライン旅行会社「エクスペディア」(米ワシントン州)「エクスペディア・ジャパン」(東京都港区)が行った「エクスペディアレポート」国際有給休暇比較2009が明らかにした。日本人有職者の有給休暇の平均付与日数は14.9日で、08年の調査よりも0.1日減少した。付与された有給のうち、取得日の平均は7.9日。昨年よりも0.5日減少した。その他の国に対しては、有給休暇をすべて取得した人の割合は、フランスが79%でトップ。以下、スペイン(78%)、イタ

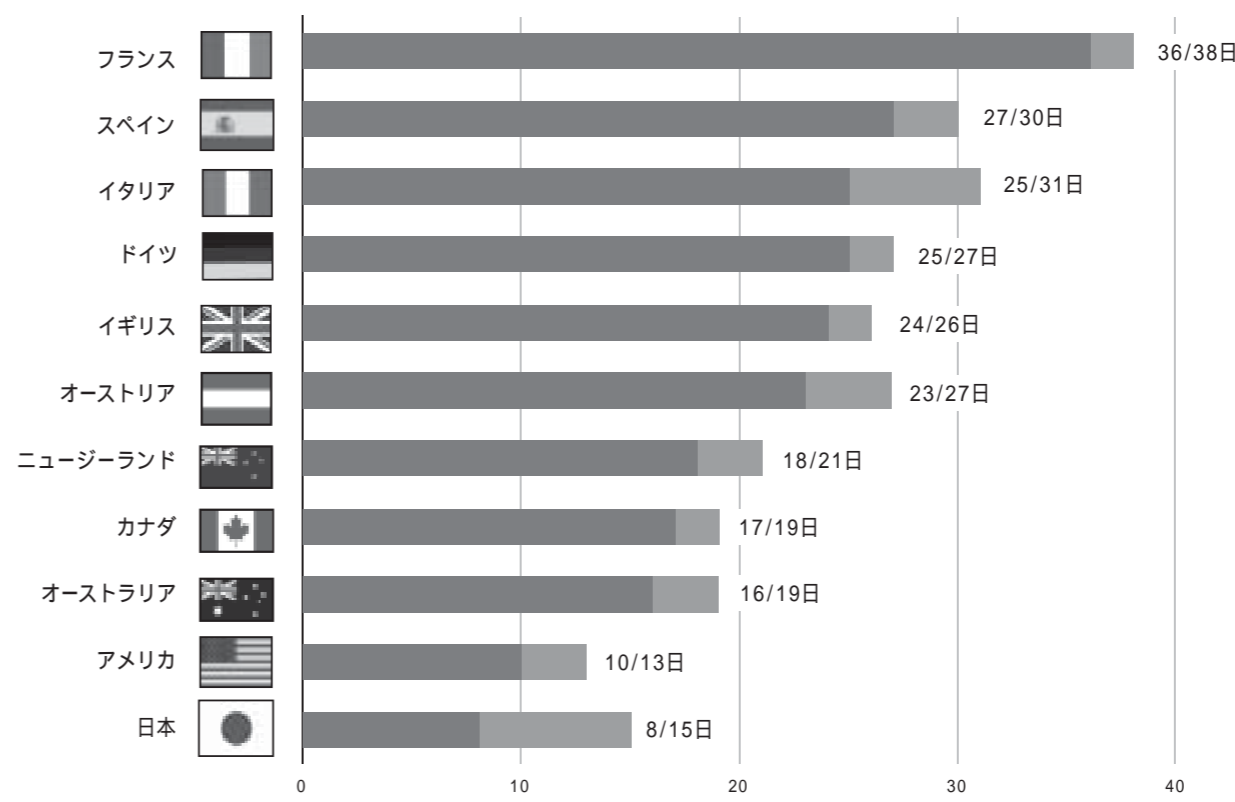
リア(77%)と続く。日本の取得率は8%で最下位の11位。取得率が日本に次いで低いアメリカでも55%だったことから、日本の取得率が圧倒的に低いことが分かる。「昨年より有給休暇が取りやすくなったか」との問いには日本人の71%が「取りやすくなった」と感じない。回答者の理由として「仕事が忙しかった(41%)」、「不況、経営状況の悪化で解雇の不安があるため休みにくい(35%)」、「無給の休みを強いられる(15%)」が挙げられており、不況の影響が見て取れる。

同調査のうち日本人に関する調査は、20~59歳の有職者を対象に今年3月31日~4月1日にインターネット上で実施。516人から有効回答を得た。そのほかの国については、インターネットを利用して、各国約500~1500人を対象に調査した。

有給休暇の平均付与日数



平均付与日数のうちの平均取得日数(取得日数 / 付与日数)



有給休暇をすべて取得した人の割合

